

はじめよう!!「減災行動」

■ 減災行動の第一歩

災害による被害をできるだけ小さくすることを「**減災行動**」といいます。減災行動の第一歩は、「自分や自分の家族は、自分自身で守る」という「**自助**」の災害対応力を高めることです。日頃からどのような備えをしておけばよいのか、「今すぐできる3つの行動」をまとめました。皆さん、今すぐ減災行動をはじめてみましょう！

行動1 はじめよう！「わが家の備蓄」

1

「1人1日3リットル」の飲料水が必要とされています。家族が3日間生活できる量を目安に用意しておきましょう。
一度に用意することが大変な場合は、水・お茶・清涼飲料水など、日頃使用するものをちょっと多めに用意することからはじめましょう。



2

家庭内で3日分の食料を備蓄しましょう。備蓄食料として、非常食を用意することも大切ですが、レトルト食品、缶詰、インスタント食品など、日頃使用するものをちょっと多めに用意することからはじめましょう。
購入した食料は一定期間保存し賞味期限内に消費します。消費したら次の食料を購入するといったサイクルで管理しましょう。



3

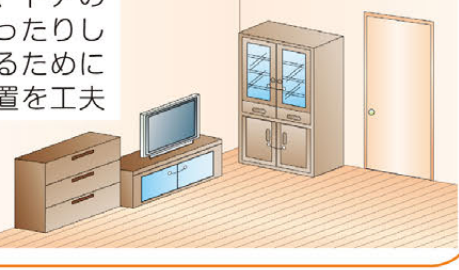
卓上コンロ、カセットボンベ、固定燃料などを備蓄しましょう。飲料水と食料の他に、卓上コンロや固形燃料があれば、非常時に食べることができる食料が増えます。



行動2 はじめよう！「わが家の安全対策」

1

家具などの転倒によって、家具の下敷になったり、ドアの開閉ができなくなったりします。被害を避けるためには、家具などの配置を工夫すること、わが家の安全を確保することができます。



2

寝室やお年寄り、子どもなどがいる部屋には、なるべく家具を置かないようにしましょう。置く場合でも頭の高さに家具が倒れてこない配置をしましょう。また、家具以外にも、掛け時計、高い所に置いてある荷物などが、落ちてくることがあります。物が落ちてこない配置を考えましょう。



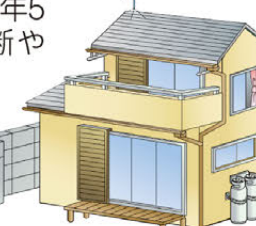
3

ホームセンターなどでは、家具や家電製品を固定する道具が多数販売されているので、家具転倒防止対策を実施しましょう。また、食器棚や窓にはガラス飛散防止対策も忘れずに実施しましょう。



4

横須賀市には、昭和56年5月以前の住宅の耐震診断や耐震補強工事などの費用の一部を補助する制度があります。ご自宅の耐震補強を検討される場合には、市役所にご相談ください。



行動3 はじめよう！「わが家の防災会議」

1

家族全員で、災害が発生したことを想定して、家族の役割、備蓄品、連絡手段などについて「わが家の防災会議」で話しあってみましょう。



2

災害時には電話がつながりにくくなります。家族との連絡を取り合うには、**災害用伝言ダイヤル(171)**や**災害用伝言板**が有効です。
■ 災害用伝言ダイヤル(171)
*「171」をダイヤルし、利用ガイドンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。
*録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。
*提供開始や録音件数など、提供条件についてはNTTで決定し、テレビ・ラジオなどでお知らせします。
■ 災害用伝言板(携帯電話)
*大規模地震などの大きな災害が発生した時に携帯電話やスマートフォンを利用して自身の安否情報を文字で登録、家族や友人の安否情報を確認することができます。
*それぞれの電話会社公式サイトや専用アプリからアクセスします。
*他社携帯、パソコンなどからも確認することができます。
■ NTT ドコモ
<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
■ au
<http://dengon.ezweb.ne.jp>
■ ソフトバンク
<http://dengon.softbank.ne.jp>
■ 災害用伝言板(web171)
*パソコンやスマートフォンなどから伝言板サイトにアクセスし、連絡を取りたい電話番号を入力して安否情報を文字で登録・確認します。
<https://www.web171.jp/>

伝言の録音方法

171にダイヤルする
ガイダンスが流れます
録音の場合 1
ガイダンスが流れます
被災地の方の電話番号をダイヤルする
(×)(×)(×)(×)(×)(×)(×)(×)(×)(×)
被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください
ガイダンスが流れます
30秒以内で話す

伝言の再生方法

171にダイヤルする
ガイダンスが流れます
再生の場合 2
ガイダンスが流れます
被災地の方の電話番号をダイヤルする
(×)(×)(×)(×)(×)(×)(×)(×)(×)(×)
被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください
ガイダンスが流れます
メッセージを聞く

避難フロー&避難所

大地震発生

津波

大規模火災

家屋倒壊

高台へ避難

広域避難地へ避難

外へ出る

自宅に住める

自宅が被害を受けて住めない

自宅

震災時避難所

避難所

大きく2つの役割があります。
①大地震や土砂崩れなどで、自宅が住めない状態となった方が、比較的長時間に渡って「避難生活」をするところ。
②台風の際など、土砂崩れ、洪水や高潮などの危険から、一時的に身を寄せるところ。

広域避難地

地震などによる大規模火災の煙や熱から身をを守るための空地。学校グラウンド、大規模公園など。

広域避難地	震災時避難所
10 長浦小学校グラウンド	10 長浦小学校
11 安針台第2公園	11 逸見小学校
12 逸見小学校グラウンド	12 沢山小学校
13 沢山小学校グラウンド	13 常葉中学校
14 ヴェルニー公園	14 諏訪小学校
15 三笠公園	15 田戸小学校
16 常葉中学校グラウンド	16 汐入小学校
17 諏訪小学校グラウンド	17 鶴久保小学校
18 うみかぜ公園	18 不入斗中学校
19 中央公園	19 坂本中学校
20 桜小学校グラウンド	20 豊島小学校
21 不入斗中学校グラウンド	21 鶴久保小学校
22 坂本中学校グラウンド	22 山崎小学校
23 鶴久保小学校グラウンド	23 池上小学校
24 不入斗公園	24 池上中学校
25 池上小学校グラウンド	25 城北小学校
26 池上中学校グラウンド	26 衣笠中学校
27 衣笠公園	27 衣笠小学校
28 城北小学校グラウンド	28 公郷小学校
29 衣笠中学校グラウンド	29 公郷中学校
30 県立横須賀高校グラウンド	30 大津小学校
31 公郷小学校グラウンド	31 大津中学校
32 県立横須賀工業高校グラウンド	32 根岸小学校
33 公郷中学校グラウンド	
37 県立横須賀大津高校グラウンド	
38 大津中学校グラウンド	
39 大津公園	
40 根岸小学校グラウンド	

災害医療活動拠点
災害医療拠点病院 (救命医療を行うための高度医療など)
横須賀共済病院
応急二次病院 (重傷者(妊婦を含む)に対する応急二次医療救護など)
聖ヨゼフ病院
横須賀市立うわまち病院
衣笠病院
地域医療救護所 (軽・中等傷者に対する応急手当など)
ウェルシティ市民プラザ
文化会館
救急医療センター
はまゆう会館

この地図は、平成28年度作成の横須賀都市計画基本図1万分の1をもとに作成しています。

逸見・本庁地区

凡	例
	行政管境界
	町行政区界
	災害医療拠点病院
	応急二次病院
	地域医療救護所
	市役所
	行政センター
	消防署
	警察署
	国道
	県道
	有料道路
	JR線・駅
	京急線・駅

1 : 11,000

0 100 500 1000m

神奈川県横須賀市中央本庁地区 22 頁 045 (2011) 2715 (株)中央ジオマテックス